日本総研リサーチ・アイ
The Japan Research Institute, Limited
No.2011-105
2011年11月18日
http://www.jri.co.jp

増加する中国石炭輸入

～ 主因は降水不足による火力発電需要 ～

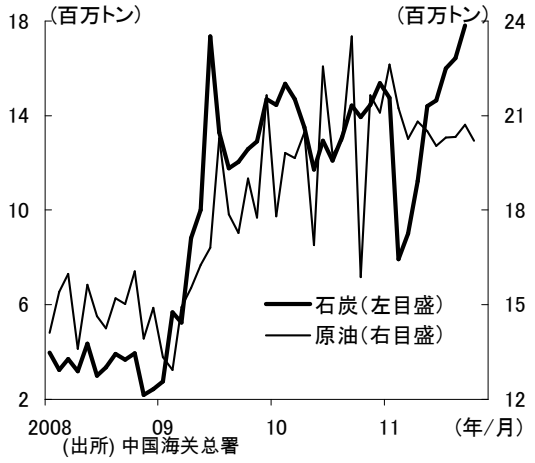
（１）本年9月、中国の石炭輸入量が既往最多を更新（図表１）。2008年まで中国の石炭輸入は限定的。国内需要量の爆発的増加に伴い09年に入り、急増した後、09年半ばから10年末まで一進一退で推移し、11年に入ると大幅減。しかし、本年3月以降、再び急増。エネルギー源として原油輸入をみると、09年入り後の増加は同様の推移をたどったものの、その後、一進一退が継続。本年春以降の大幅増加には石炭固有の事情が作用した公算大。

（２）そうした観点から発電量の推移をみると、全体として本年入り後も前年比10%前後の増勢が続くなか、内訳をみるとこのところ一段と火力発電の増加が際立つ展開（図表２）。一方、水力発電は本年3月まで増加に寄与。しかし5月以降、一転してマイナスに。消費や設備投資など内需主導でハイペースの景気拡大が続くなか、火力発電へのシフトを通じて電力需要の増大に対応。結果として輸入石炭への依存が増大。

（３）水力発電量の減少は記録的少雨に起因。中国の中心的降水地域である華南地方に位置する6省および雲南省と四川省、合計8省の主要都市の降水量をみると本年入り後5月まで平年の半分に満たない記録的少雨。一転して6月には平年の2倍近い記録的豪雨後、7月から10月は平年並みで推移。もっとも、11月に入り、再び雲南省をはじめ南部エリアで降水量が大きく減少した模様。

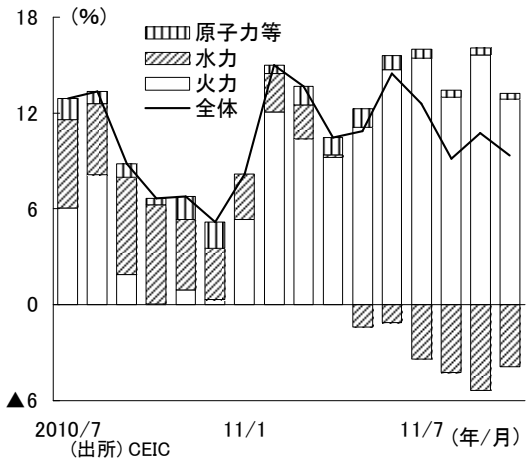
（４）渇水は農業への影響に加え、石炭輸入の増加に波及。中国の石炭輸入量は09年以来、大幅に増加し10年には世界の全石炭輸入量の2割へ（図表４）。そうしたなか中国の異常気象が持続した場合、食糧に加え石炭でも価格上昇のトリガーに作用する展開が視野。

（図表1）中国のエネルギー輸入量（季調済）



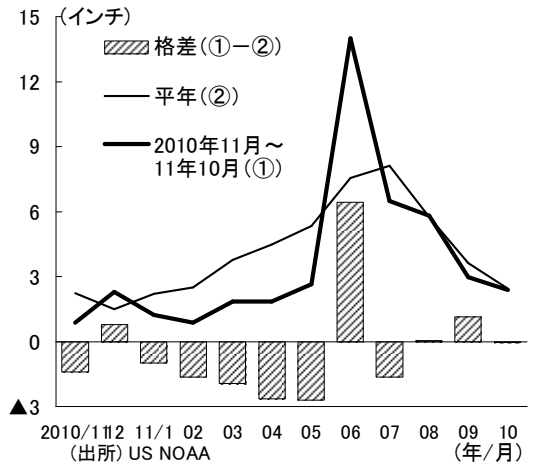
（出所）中国海关总署

（図表2）中国発電量（前年比）



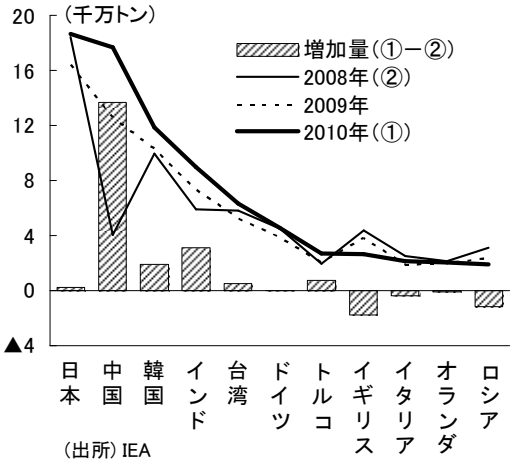
（出所）CEIC

（図表3）華南地方と雲南・四川省主要都市の降水量



（出所）US NOAA

（図表4）石炭主要輸入国の輸入量



（出所）IEA

《ご照会先》日本総研調査部　藤 井（fujii.hidehiko@jri.co.jp、03-3288-4615）